夕刊 磐城新聞
九月十一日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢（郵税拾五錢）
廣告料金 普通欄金六拾錢 特別欄金九拾錢（五號十二字詰一行一回）（場所指定一行一册増）
編輯印刷兼發行人 柏木哲 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
振替貯金（タイライワキ）平局私書函第十二號 電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

進取か將又退嬰か

成海散人

（四）

それには計劃を成就した悦、逆境に苦しんだ味、人に後れて樂しむ覺悟が永年の經驗と修養に倣つて体得せねばならぬ。

然るに會社に至つては全くその事業に經驗のない者が單に才能があるとか地方の舊家とか云ふ理由に仍り理事者となる場合が多い、これが根本の誤りだ、勿論大商店を無經驗の若主人が仲々良く經營する場合もあるがそれは祖先傳來の家法があり、暖簾が既に確立して家付の忠實な番頭が居て援となるからである、然るに會社になると大資本を以て創業より始めるからそれだけ大經驗と大才能とを要する。

資本は勿論前述の如く産業には不可欠ものであるが企業には如斯面倒なる資格を要するが故に資本を持つ者は立派なる企業家を選んで之を援助し共に利益に與るべきだ而して才能と經驗とを持つ企業家は確實に事業を進め一圓の金も一錢より成立すると同樣、百萬圓の金も一錢より成立するてふ經濟家の根本精神を確認して出資者の利益を守らねばならぬ、以て地方産業の開設を計らねばならぬ。

然し乍ら企業家となつて企劃を樹て多くの人を使用して力ある活動をなすには普一通りの苦心ではない、多くの人が安眠を貪る時、孤燈の下に疲勞した頭を更に苦しめる事もあるであらう、多くの人が凉を追つてとする處なり、蕃殿の夢を結ぶ時蒸暑い事務室で電話の聲に焦てる事もある、人に後れて樂むと云ふ位困難な事はあるまい而も之等が總て企業家の不可欠の要素である、されば眞面目なる企業家を眞面目に活動せしめ石城の開發に滿身の努力を煩すにはそれだけの援助の同情と敬意とを拂はねばならぬ、人の和こそ何處に於ても成功の基礎である。

これ等の點に於て石城民の爲しつつある現狀は果して適當なりや、周圍の者が援助せぬが故に身を殺して石城開發の爲に立つ勇士も少く可惜大才能の勇士あつて奮闘するも之が爲に援助する者少きが故にその勇氣は殺されその鋭鋒は鈍り大を爲す事が出來ぬ。

斯くして慘憺たる不況に苦しみつつあるは余の解せざる第五なり。

以上五箇條は余の不可解とする處なり、然し石城は余の先祖の地であり又子孫の地なり、最愛の地なるが故に敢て苦言を綴つて同胞に示すのみ、諸兄それ熟讀再考せられんことを。

高月句抄

日燒

日にやけて白きパラソル目に立ちぬ　耕影
聊かの逍遙に餘後の日やけかな　一夢
日燒せし子の椽側に見る角力　紅果
汽車つきて日燒の群や夕の町　同
默々と日燒の男働けり　同
病む妹の日燒かなしむ海邊哉　霧笛
文身の肌逞しき日燒かな　同
日燒の子砂にまみれて遊びけり　天仙
燒砂に日燒の背の並びけり　同
日燒の娘薄化粧して礒に立つ　閏月
日燒せし人得意なり夏の濱　良亭

晝寢（童謠詩）

原勝

納戸でお晝寢してゐれば
背戸籔通る風の音
ことこと小舍に音たてて
牛は野良から歸つたか
釣瓶のはねる音がする
起きてお風呂の水汲まう

時代警語（蘇峰）

○人生の快樂は必ずしも廉價にて購ひ得可らざるにあらず、吾人は如何に質素にして野鄙ならず、簡易にして高雅なる可き生活をなすの工夫あるを知るを要す、既に之れを知る、其收入の程度に相應する生活に處して綽然餘裕ある、何の難きことか是れあらん……（日曜講壇）

9月12日

△帝都復興の詔勅降下（大正一二）△銚子沖にて漁船救助顛覆四十餘名行方不明となる（昭和四）△京濱間に汽車開通、之れを本邦鐵道の最初とす、天皇親臨勅語を賜ふ（明治五）△東北（札幌）農科大學開校式擧行（明治四〇）△藤原惺窩歿す、年五十九、本邦程朱學の首唱者也（元和五）△加藤嘉明歿す、年六十九三河の産、馬追ひの微賤に身を起し、秀吉に擧げられ後會津四十萬石の大諸侯となる（寛永八）

拈華微笑

◇政友派の協定。先づベロ使ひの繩張りから
◇大平派。ゝと木の頭が入つて太平派にならぬか知ら
◇今年のお盆は二度來た樣だなんてヤニ下る和尚
◇微祿して美祿に遠ざかる左黨
◇投票迄あとなか十三日
○……○

一日一禪

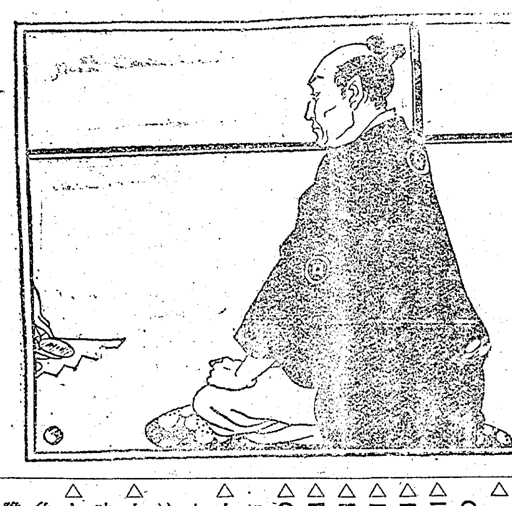
○人心高下月中桂　客思往來波上萍

講談　俠艶 女長兵衞

東京 斯波南叟
（魚崎潮畫）

（一三）

最初は礒右衞門ぶち猫を飼のやうに追掛けたのだが、今更考へて見ると不思議でならない……此處に居る處を見ると、大方此の家の飼猫に相違はあるまいが懐中へ物を咬つて彼アした場所へ導いたのは、何うしても不思議でならない、彼れは斯う思ひながら其の遊び戯れるところを見ながら、庄助と相對して座に就いた、時に庄助が少し退つて懐中から鼻紙入を取出した中から小判十枚白扇を開いて其上に並べ 庄『今日の事は聊か手前の心得違ひ、お町奉行の御支配内に手入れを致すと申す心得は少しもござらん、實を申すと當家の娘…綿帽子を冠つた婚禮姿の女は、彼れは會津の奸臣堀主水の忘れがたみ、餘類に相違ござらぬ、太守から召連れ參れとの御沙汰、依つて手前連れに參つたるところ、美濃屋卯兵衞が横から差出て武士に對し惡口雜言、棄て置き難く心得たるところから、思はずカツト成つて手込に致したる譯、此の義は全く手前の心得違ひ偏にお目こぼしの義を賴み入る、是れは失禮でござるが、お伴方へでもお分ち下さるやう、追つて八丁堀のお屋敷へお禮に參上仕る』甘く言廻したが、話しの筋道は是れで立つてゐる、只町人美濃屋を縛つた丈が手落ち其手落を詫て大枚十兩……十兩は其頃は容易ならぬ大金でございます、トもうしますのは盜[illegible]騙などの惡黨も五兩以下では首には成らないが、五兩以上となると打首と云つた制度があつたぐらい、御當節の十兩は端た金だが、同じ十兩でも昔は金の位が違つて居た、小室礒右衞門も首を捻る、前申上ぐる通り徳川時代には、賄賂は殆んど公然と云つて好い程に行はれてゐた、町奉行の手付等で是れを取らないものは無い、礒右衞門も賄賂には經驗がある…彼のネコめ俺に金儲けを授けやがつた、みの屋を縛つて行くのだと可愛さうだが、心得違ひと云つて居るから卯兵衞は無事だ其上小判が十兩、甘い〳〵……礒『フン成程』と言ひながら小判の方へ手を出さうとしてヒョイと見ると、最前のぶちネコめ急にムックリ起き直り、四足を突いて、…フーッ……と白扇を睨んでゐる、眼色は異樣に光つて礒右衞門の顔を射るやうにさす……あッ……礒右衞門少しく恐れをなし、出そうとした手を引込めて……どうも不思議なネコだ、柄は小さいが最前からの手際から見ると、ウツカリ此の金を取りでもすると、何んな仇をするかも知れない……とモジ〳〵する 庄『誠に輕少で定めし御不滿足でもございませうが、堀主水の餘類を召連れ參り、お役向へのお情を言上したなら、殿にも定めし御滿足改めて御厚禮申上げる事になりませう、今晩のところは……』フゥ〳〵……今度はネコめ礒右衞門を睨み始めた其恐ろしい目付きッたらありません 礒『イャ斯樣なものは頂戴出來ない』咽喉から聲が出る樣だつたが辭退した 庄『左樣』せられず……イャ是れは拙者の誤りでござつた』出した白扇を膝元へ引き、再び懐中へ入れて十兩取り出した、前のと併せて二十兩 庄『どうぞ是れを……』庄助の心持では、礒右衞門の樣子が賄賂の不足だから取りそうに見える不足だから取らないらしい、たちの惡い與力だ、最う十兩足したら大丈夫だと思つたのだ、礒右衞門屹となり『アヤ是れは何事でござる金錢を以て拙者を釣らうと致さるるか、お役儀を金で買はうとなさるるのか、其許も武士以ての外の事をなさる、内願があらばと仰せられるから是れへ參つたのだが、始め十兩金出しお斷り申せば二十兩金出す、拙者を愚弄さるるのも程のあつたものだ、會津藩では知らぬ事、公儀の役人は金錢に眼を晦ましは致さぬ、お引込みなさい』礒右衞門聲高に斯う叫んで、傍に置いた刀を提げ顔色を變えて立上つた……。



ラヂオ

…十二日（土曜）…　仙臺JOHK

△六、三〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇 料理獻立（南煎丸子）小野やす子
△一〇、三〇A 夏期講習（家庭用マッサージ）小川源助
△日用品値段
△後〇、〇五 六、〇〇A 運動競技（六大學秋季野球リーグ戰試合狀況…明法慶帝一回戰）
△〇、四〇A ニュース 氣象通報 告知事項
△一、〇〇 一、五〇 二、三〇A 經濟市況
△三、四〇A 氣象通報
△三、五〇 經濟市況
△四、〇〇A ニュース
△五、三〇A 經濟市況
△五、四五 今晩の番組豫告
△〇、〇五A 二絃琴 雨天にて野球中繼無き場合
△六、〇〇A（子供の時間）少年音樂講座（うたのけいこ）佐々木すぐる
△六、三〇A 聯珠講座（趣味の珠法）九段高木樂山
△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告 生繭相場
△七、三〇 講演（乃木將軍の那須野に於ける私的生活を憶ふ）錦貫晴文
△八、〇〇A 謠曲（俊寛）
△九、〇〇A ヴァイオリン獨奏 アレキサンダー・モギレフスキー
△九、四〇A 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 生繭相場

廣告

芳醇無比
白馬の雪
松本德一吟釀
平電話二八五

夜間診療
胃腸 黴毒
內科 十二指腸虫病 專門 內科部
淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院
（平南町電話一〇七番）

セダン揃ひで！
貸切專門の！
昭和タクシー
三四三番

內科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋疾 皮膚病　市原三男
市原醫院
平町田町本通
（入院隨意）電話一一四番

吉田眼科病院
平町紺屋町

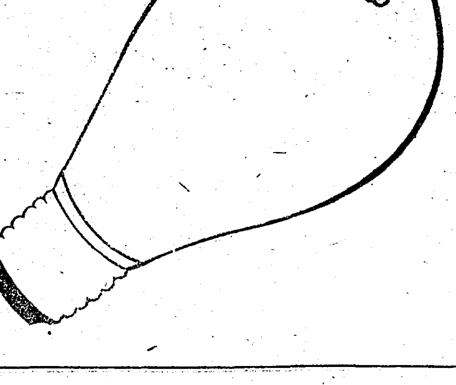
こもすれば
胃腸を害し易い秋です 必ず召上れ
毎食前 蜂の一杯を！ 一杯よく胃液の分泌を促して消化を助け 絶大なる殺菌力と相俟つて 健胃 整腸の効を遺憾なく發揮いたします
美味滋養……蜂ブドー酒！

蜂ブドー酒
大阪 近藤利兵衛商店

度量衡計量器
吸入用酸素
酸素吸入器
關內藥局

十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三 大谷時計病院
眼鏡科 電話十九番

ガス入電球ノ値下ゲニ次グ又値下ゲ



政友陣容整ふ

共同策戰上第一着に 演説會開催地を協定

本日中立候補手續を了して 一齊に言論戰の火蓋を切る

昨十日無事平穏裡に候補者三名の公認を了つた石城政友部會では聚樂館の豫選會終了後石川亭に於て木村會長、鈴木縣支部幹事長、佐藤前幹事長以下幹部の懇談會を開き今後の運動方法其他に關し協議の結果今十一日田子候補が代表出願して三名の立候補手續きを爲した上夫々實戰に入る事となつたが取り敢へず各候補の遊説地盤を左記の如く協定し近日中一齊に言論戰の火蓋を切る事となつた

（井上候補）平町、江名、豊間、高久、夏井、神谷、小川
（赤坂候補）磐崎、上遠野、入遠野、田人、川部、勿來、錦、山田、植田、渡邊、泉
（田子候補）川前、三坂、永戸、飯野、鹿島、玉川、草野、大浦、四倉、大野、平窪、赤井
（各候補）小名濱、內郷、湯本
（井上、田子候補）好間

事務所開設

今十一日政友派三名の立候補手續終了と共に左記の通り選擧事務所を開設すると

（井上候補）平町三丁目裏元和田禎宗氏宅（事務長鈴木辰三郎氏選任者關內正一氏）
（田子候補）同町田町甲子裏（事務長馬目雄次郎氏）
（赤坂候補）植田町（事務長古川傅一氏）

感情の縺れから 大平派頻に動く

結局立候補か？ 空氣險惡化し來る

嚢に郡南方部割り當ての候補難に陷つた民政黨が湯本町の石川德壽氏を公認する以前に於て黨の幹部連が前縣議大平睦四郎氏を閑却した嫌ひあると云ふので同氏及び勿來方部同志の反感を買つたものの如く石川氏の公認後に於て大平氏の立候補が取り沙汰さるるに至つた處へ今十一日午後から湯本町で石川氏公認に關する詮衡委員の報告會があり之には勿來方部からも若干の出席者がある見込なので或は一悶着が起り兼ねまじい形勢に在る

演説會が始まつて 有卦に入るお寺樣

葬式程の手數も無く 轉げ込む會場使用料

候補者の決定と共に言論戰の烽火は揚る。喜ぶのは各劇場の持ち主に自動車屋で各候補入り交り立ち交りの演説會に前後十日程は盆と正月が一緒に來た樣なボロい儲けにありつく筈であつたが今迄に無い清貧自ら持する候補者が多いので其の割合では無からうと想像されるに反し私かに黄色い齒をムキ出して有卦に入つてゐるのが各村々のお寺さんである。尤も演説會場の商賣敵として小學校と云ふ侮り難い相手はあるが點燈等の設備關係やら地理的關係などでお寺へ持ち込まれる場合が少いないのは事實である。處で石城郡下のお寺は

眞言七〇、淨土三〇、曹洞三三、其他二一、計一五四

其內六十餘り無住寺があり尙ほ市街地はお寺を使はぬから演説會場の御用を勤めるのはその幾分の一には過ぎぬが『諸君よ諸君』に一遍提供すれば葬式幾つ分がに有りつくんだから玆許斷然法悅にひたらざるを得ぬ勘定である。それから學校の方は分教場迄合せて約八十近くあるが之の方は別段校長さんのみいりになる譯でなし結局骨折り損が落ちなので何としても言論戰歡迎は劇場自動車に次でお寺樣と云ふ事になる

投票用紙 來十五日配付

選擧もいよ〱後二週間後に切迫したので縣では今次選擧に使用する石城郡內の投票用紙四萬百六十名分を十五日各町村に配布するが尙同時に假投票用紙、封筒、ポスター等も配布する筈

在住有權者は 屆け出られ度い

平町役場では縣議戰の切迫に伴ひ目下諸般の準備事務に多忙を極めてゐるが在住有權者の屆出がないため甚だしく支障を來しつつあるので來十五日迄是非屆出て欲しいと

來十五日現在で 選擧人名簿調製

けふ平町役場から 該當各戶へ用紙配布

平町役場では來十五日現在を以て町會並に衆議員議員選擧資格者名簿を作製する事となり今十一日各區長を通じ資格申告書を町內各戶に配布したが之の該當者は明治三十九年九月十五日以前生れの者で昨年九月十六日以前からの居住者である

來春綴驛頭に建つ 淺野記念會館

故翁を偲ぶに相應しい 善美を悉した設計成る

綴驛前磐炭礦業所と相對して建設さるる淺野記念會館は故翁の風格を欣慕する同社役員從業員をはじめ五千四百九十一名の寄附金五千六百餘圓を基本に不足額は各重役に於て夫々調達する事とし過般來斯界の權威前田健次郎氏の手により設計を進め此程完成を告ぐるに至つたが其の概要は鐵筋コンクリート十間半に十四間百五十餘坪二階建で、二千人を收容し得る大ホール、事務室、喫煙室、娛樂室、喫煙室、控室、樂師室、機械室、階上にも亦小ホールを有するといふ現代に於ける斯界の粋を總合したるもので約一萬三千圓の建設費を要し、來春三月頃落成の豫定であると

平町新風景

貧の御愛嬌

痛快に失業した 地方の選擧ブローカー

潜行して手擲彈を飛ばす暗躍の怪腕と之れを取つ締める能力とが同點の儘ゲームを續行し徐に補回戰に入ると云ふ事が在來の選擧に繋がれた定石的興味だつたんです、現れない永い間の選擧史中には遊反の大天才小天才が隨所に登場して斷獄の吏材を出し拔き辛辣憎むべき瓢逸愛すべき買收レビューの數々を實演してるんです。

〇

中原の鹿を射止めるに黄金の實彈を必要とした以上世の候補者たらんとする程のものは必然的の條件として近郷近在切つての物持ちでなければならなかつたんです。紫外線に燒けた額の汗を拭き拭き胸毛に波打たして村政を上下する村けえの小に至る迄荷も『金持ち』をシンボライズする議員の肩書きではあつたんです。

〇

昨本紙の所謂『貧乏候補のオンパレード』もチト名學破損の惧れあるが少くとも所謂公私の救助を受けない限り衆議院の候補者にもなれると云ふ事は、民權の伸長選擧界の徹底的淨化なんて堅苦しい事はどうでも、殆ど涙の出る程有り難い事になつたんです。

〇

處で儲と失業して了つたのが選擧ブローカーなんです。詰り候補者の資産關係から金融頓に硬塞と云つた具合でブローかるにもからぬにも其の種が無くなつて了つたからなんです。

〇

隨て從來何かの經緯で誰れも取らぬ彼も返したと云ふ理由の下に最初支出した買收金が再び會計の手許へ歸る時には何處でどう頭を刎ねられたか尻毛を切られたか半分になつてゐたなんて選擧漫談は根本から無くなると云ふ事になつたんです。

〇

金も無ければ買收もなし光風霽月。いとも朗かな石城郡に於ける今度の縣議選擧なんです。

架線を切て盜む ルンペン二人男

其筋に檢擧さる

當時住所不定無職茨城縣東茨城郡磯濱町元一丁目三二○窃盜前科三犯小沼藤吉（四二）同相馬郡新舘村小島山野邊一五一松岡好美（三三）の兩名は七日午後十時頃內郷村綴地內磐城炭礦専用二千五百ボルトの高壓線二百五十尺並に電話線七十尺計九貫目餘を切斷し古物屋に賣却消費し、事平署に探知され目下同署で嚴重取調中

物騒な女の夜みち

四十にして惑ふた大工 未遂の儘突き出さる

內郷村大字御厩字小島伊藤某の妻特に名を秘す（三〇）が今曉一時頃平町長橋町地內吉村製綿工場側道路を通行中突如背後より勞働者風の怪漢が躍り出で傍の叢に捻ぢ倒し暴行を加へんとしたので女が極力抵抗し悲鳴を擧げて救ひを求めた爲通行人が驅けつけ逃走せんとした痴漢を引つ捕へ平署へ突き出したが右は平町長橋町七三居住內郷村大字御厩字上宿一五生れ大工野木力藏（四四）と判明目下嚴重取調べ中

投槍 寄書歡迎

遊説隊に望む

◇政府は農村負債整理低利資金として又々三千萬圓を貸つけることに決定した先に決定した三千萬圓を加へれば合計六千萬圓である我が國農村の負債はこれを內輪に見積つても五十億圓を超ゆる、或は六十億圓に達するかも知れない

◇一時の景氣に浮かれて作つた借金、平價解禁によつてその重量が倍加した借金、この償還資金が合計六千萬圓では百圓に對して一圓の割當である。蓋し二階から目藥以下の効能である

◇勿論これだけでも一パーセントの苦しみだけは薄れるわけだが、これでよいといふのか、農村負債は永劫にかぶせられたいばらの冠である、農民の血と汗とを間斷なく搾取してゐる

◇石城郡でも縣議戰機漸く動き各派の遊説が始められる事と思ふが此邊の匡救に關する大經綸を吐露して吾人の有する清き一票を吸引する樣にしてはどうか、敢て各派の遊説隊員諸君に一言す（好間篤農生）

不景氣風に煽られて 天の美祿の消費減退

這般の消息を物語る 心細い税務署の統計

平税務署管內に於ける去月中の清酒並に燒酎藏出高を前年同期に比較對照すると

種別	本年	昨年
清酒	七七石	一八五石
燒酎	九九	一一九

となり差引清酒百八石燒酎は二十石の減となるが更に前年十月の酒造期より八月末迄の清酒藏出高累計を示せば

種別	本年	昨年
新酒	一三、四七五石	一五、二八四石
古酒	三二二	四八八

で新酒は千八百九石、古酒百六十六石、合計千九百七十石の減で其間漫ろに空氣の沈滯ぶりが窺ひ得て餘りある

四倉繭市況 昨十日の取引

四倉繭市場昨十日の取引は次の如し

白繭總貫數百六十貫、最高三圓二十六錢、最低二圓七十八錢、買馴三圓九錢

艶罪黑白

◇すつかり人が寢靜まつてから蹌跟踊躍と新田町裏のドブつらをやつて來た一人の中年增。ドツカと許り塵箱に寄つ掛つて獨り言の大氣焔◇『內閣がどうしたつて…コッチャァお客が無いかく、錢が無いかく。かくであるのは恥ばかりだア・リヤ、コリヤかね』◇こんな愉快なのがまだ二三人はあるから平の花柳界も悲觀するには及ばない◇ナンテ之れも其の頃迄何處で飲んでゐたのか、その實況を惡友共に報告して例の不良が嬉しそうな顏つたらありやあしない。

街路樹の快い戰慄に 情調を增す鎌田遊廓

○○○○○○○ 他數件と土木委員會で協議す

平町役場土木委員會は來十四日午前十時から町役場會議室で開催し五色町遊廓內町道に街路樹を植え大に情調を添ふる件其他左記諸項に就て協議する

杉平地內道路改修工事附帶排水路施工、杉平地內山砂利及玉石採取狀況報告、丹後澤町有地と松崎松治氏所有地境界決定

ラヂオ懸賞當籤者

東部電力株式會社では豫てシンガーラヂオ受信機の懸賞付き大賣出しをなしてゐたが成績良好裡に過般これを締切り昨十日同社樓上に之が抽籤を行つた結果平關係で左の人々が當籤した

一等 四丁目 佐藤武
三等 大工町 石井精米所

白痴の弟殺し好評

西部戰線異狀なしを上映の傍ら實演しつつある『白痴の弟殺し』は爛れ切つた時代相の描寫を內容とし惻々人を動かす演出によつて初日以來殊の外好評を博してゐる

十三日例會 村上大佐講演

十三日例會は當日午後六時からマルトモ階上で開催村上大佐の滿蒙問題に關する講演ある筈

役場移轉協議 平町

役場建築委員會は明十二日午前十時から同會議室で開催し廳舍移轉に就て協議する由

高月句會

酒井耕影、只野閑月氏等を中心とする高月句會の九月例會は來二十六日（舊八月十五日）をトし觀月を兼ね午後六時から開催するが會場は追て發表すると

手長小僧二人

飯野村上荒川元自動車運轉助手島田春造（一八）假名は一昨九日午前零時頃平町研町二七庄子某方に忍び入り現金六十錢を竊取▼上遠野村大字上瀧無職福島政夫（一七）假名は昨十日午後九時頃湯本町森ハル方の留守宅に忍び入り竄筍の抽斗から現金八圓入の蟇口を竊取したる廉により目下何れも平署で取り調べ中

六十爺の亂行

飯野村中山農渡邊重太郎（六二）は酒癖が惡く附近の人々から嫌忌されてゐたが最近同樣酒の上から長年連れ添ふて子供の四人もある女房かつ（五四）は愛想つかして同村下荒川の弟志賀傳五郎宅へ逃げ歸つた爲毎日飲酒泥醉しては傳五郎方へ女房を返せと暴れ込むので今十一日隣人から說諭方を平署に願ひ出た

廣告

安齋外科醫院
平町田町
電四七五番

品のヨイ
トビハナレてヤスイ文具
平マーケット

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

外科專門 X光線科
入院隨意（自炊の便あり）
病室完備
平南町
上田醫院
（電話一二九）

（共濟病院）
輕費診療開始
郡內卅四ケ町村の囑託により六月一日より輕費診療を開始す
◎診療科目 內科 小兒科 外科 性病科 皮膚科 產婦人科 物理療科 耳鼻咽喉科 X光線科
◎診察料 共濟會員 無料 輕費診療 五十錢
◎藥價一日分 一種 共濟會員 十錢 輕費診療 十五錢
◎入院料一日分 輕費診療 一圓以上
院長 醫學博士 石山謙郎
本院主管 賀澤忠治
◎衛生試驗 醫化學的檢査は何でも致します遠慮なく御利用下さい
◎公休日は廢しました
尙御不明ノ點ハ各町村長並ニ本院ニテ御遠慮ナク御聽キ下サイ
磐城 共濟會
電話六四一番

貸切は
親しみあるサービスを以つて知られたる！
尼子タクシーへ
電六四〇番
主任 澤正路

開館致しまして
まだいく日にもなりません
それに
みな樣の御聲援を賜りまして
毎日の樣に
隆盛に向つて居ります
私し共も……こゝ一番の
努力を續けまして
新らしい氣分と
新らしいサーヴィスを
決して忘れません
一度………
銀座會館の子供の樣な
（平會館）（南町壽）のドアーを
開いて下さい。
美人國 平會館
白銀町平驛東通り 電話二九八番
壽
南町釜屋裏 呼電話二八六